

都立野津田高等学校 令和3年度 科目( 社会福祉基礎 ) 年間指導計画

教科:( 福祉 )科目:( 社会福祉基礎 ) 対象:( 第 1 学年 5 組)

使用教科書 : 7実教 福祉301「社会福祉基礎」

使用教材 : 最新・介護福祉士養成講座 社会の理解(中央法規) 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法

	指導内容	科目・( 社会福祉基礎 ) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	1 社会福祉の理念と意義 (1) 生活と福祉 ①福祉とは何か ②少子高齢化と人口減少 社会の到来	進行する少子高齢化と人口減少の中での社会福祉が担う役割を理解することができる。	小テスト 課題プリント ワークシート 授業態度	9
5月	③地域社会の変化 ④生活の変化 ⑤疾病構造の変化と国民の健康づくり	大都市への人口移動に伴う都市と地方の格差、地域社会の変化について理解し、今後の地域社会のあり方を理解することができる。 家族形態の多様化や女性の職場進出の結果生じた育児、介護に対する我が国の社会的支援のあり方を理解することができる。 国民の疾病構造の変化やこれまで我が国が担ってきた保健医療施策について理解し、今後の国民の健康づくりのあり方、社会福祉サービス施策との関わりを理解することができる。	小テスト 課題プリント ワークシート 授業態度 筆記考査	9
6月	⑥ 人の一生と社会福祉 (2) 社会福祉の理念 ①日本国憲法と社会福祉 ②社会福祉を支える諸原理	福祉社会の形成には、福祉コミュニティづくりや共生社会づくりが必要であることを理解するとともに、新たな福祉社会の創造に向け、行政やボランティア活動が果たすべき役割を理解することができる。 世界人権宣言に始まる国際連合で取り込まれてきた人権保障の歴史的経過を理解するとともに、社会福祉の理念「ノーマライゼーション」を地域社会でどのように醸成させていくか考察することができる。	小テスト 課題プリント ワークシート 授業態度	8
7月	(3) 人間の尊厳と福祉社会の創造 ①人間としての尊厳 ②自立生活支援	人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。 生活そのものが持つ原理・原則を理解した上で、自立した生活とは何か、その本質にふれ、ひいては援助のあり方を考察することができる。	小テスト 課題プリント ワークシート 授業態度 筆記考査	5
8月				
9月	福祉社会の創造 2 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 (1) 諸外国における社会福祉の発展 ①イギリスにおける社会福祉の発展	福祉社会の形成には、福祉コミュニティづくりや共生社会づくりが必要であることを理解するとともに、新たな福祉社会の創造に向け、行政やボランティア活動が果たすべき役割を理解することができる。 エリザベス救貧法からベバリッジ報告に至るまで救貧から福祉までの歴史の変遷を理解するとともに、各時代が担った意義を理解することができる。 福祉国家に至る過程、シーボーム報告によって具現化された地方自治体による福祉サービス提供のあり方、サッチャー政権による行財政改革を経て確立した社会福祉と保健医療の連携によるケアマネジメントシステムについて理解し、それらが日本に与えた影響を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	4
10月	②アメリカにおける社会福祉の発展	アメリカ社会の形成過程を知るとともに民間社会事業の一つ慈善組織協会の活動から生まれたソーシャルワークの発展や社会保障法について理解し、それらが担った意義を理解することができる。 公民権運動を契機とした自立生活運動への発展、ひいては障害をもつアメリカ人法成立までの過程、また現在新たに確立を目指す公的医療制度について理解し、それらが我が国に及ぼした影響	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	9
11月	③北ヨーロッパの社会福祉—スウェーデン・デンマークの動き	スウェーデン・デンマークを中心とした北欧諸国の福祉国家成立までの歩み、ノーマライゼーションの考え方を活かした障害者福祉施策や高齢者関連施策について理解し、それらが我が国の社会福祉に及ぼした影響を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	6
12月	④ヨーロッパ大陸諸国の社会保障 ドイツ・フランスなどの動き	ビスマルクによる社会保険制度の誕生、旧西ドイツにおける社会保障制度の確立、東西ドイツ統一後の介護保険制度の制定、フランスにおける子育て支援に関連した手当制度について理解し、それらが我が国の社会福祉に及ぼした影響を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	5
1月	⑤アジアの少子高齢化と社会福祉の課題	近年、経済発展が著しいアジア諸国の福祉サービスの展開を理解するとともに、開発途上国に対する我が国の支援のあり方を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	6
2月	(2) 日本における社会福祉 ①近代社会福祉の誕生・先覚者の活躍 ②「地域福祉」の始まり ③社会事業への着手 (第二次世界大戦前) ④戦後の混乱期から福祉三法体制の確立へ	恤救規則に代表される政府による救済制度や近代社会福祉における先覚者たちの取り組みを理解するとともに、それぞれが担った意義を理解することができる。 方面委員制度、セツメント活動といった地域福祉の黎明期における取り組みを理解するとともに、現代の地域福祉にどのような影響を及ぼしているのかを理解することができる。 社会事業という概念のもと、大正から昭和(戦前)期にかけて実施された政府による取り組みを理解するとともに、その時代背景の中で果たした役割について理解することができる。 戦後の混乱期の中、GHQ主導のもと日本国憲法の趣旨に沿って制定された生活保護法や福祉三法体制の成立過程を理解し、その時代にどのような社会福祉・社会保障に対する方向づけが行われたかを理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	4
3月	社会と生活のしくみ	家族機能について理解することができる。 地域社会の役割について理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	5

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護福祉基礎) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(介護福祉基礎) 対象:(第1学年5組)

使用教科書: 7実教 福祉302「介護福祉基礎」

使用教材: 最新・介護福祉士養成講座 介護の基本Ⅰ・Ⅱ(中央法規) 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法

	指導内容	科目・(介護福祉基礎)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	1 介護の意義と役割 (1) 尊厳を支える介護 ①その人らしく・尊厳・基本的人権 ②高齢者の人格と尊厳	・介護が必要な人とはどのような人か、尊厳とはどのようなことか理解し、尊厳を守るために必要な考え方や態度について学ぶ。	課題プリント	4
5月	③障害のある人の人格と尊厳 ④利用者本位の介護サービス (2) 介護従事者の倫理 ①尊厳・プライバシー保護 ②専門性と基本姿勢	・介護従事者として必要な倫理観と、それに基づく態度について理解する。	課題プリント	8
6月	2 介護を必要とする人の理解と介護 (1) 高齢者の生活と介護 ①生活支援 ②生活を支える介護	高齢者の特徴や活動、認知症等の疾患を理解し、高齢者に対するより良い介護のあり方を学ぶ。また、基本的な生活支援の方法や技術を学ぶ。	高齢者の特徴を理解し、利用者本位の支援のあり方を考察できたか。  レポート	8
7月	③生活を支える介護	高齢者の特徴や活動、認知症等の疾患を理解し、高齢者に対するより良い介護のあり方を学ぶ。また、基本的な生活支援の方法や技術を学ぶ。	高齢者の特徴や活動を考察できたか レポート 定期考査	6
8月				
9月	(2) 障害者の生活と支援 ①障害とは ②視覚障害者、聴覚・言語障害者の生活と支援生活を支える介護	障害の範囲と程度を理解し、障害に対する考え方の変化や障害者の生活環境を把握する。視覚障害者、聴覚・言語障害者の心理や生活上の問題を把握し、問題の解決法を考える。また、聴覚障害者、言語障害者のコミュニケーションのとり方を理解する。	障害を理解し、生活上の課題やコミュニケーションのとり方を理解できたか。 レポート	6
10月	③肢体不自由者の生活と支援 ④内部障害者の生活と支援 ⑤知的障害者の生活と支援	脊髄損傷者、脳性麻痺者、脳血管障害者の原因と生活上の困難を理解するとともに心理を考える。内部障害者の特徴をつかみ、適切な支援体制の必要性を考える。知的障害者の生活上の困難を理解し、知的障害者を共感的に考える姿勢を身に付ける。	肢体不自由者の生活や内部障害者について理解できたか。 レポート 筆記考査	8
11月	⑥知的障害者の生活と支援 ⑦発達障害者の生活と支援 ⑧精神保健福祉	知的障害者の生活上の困難を理解し、知的障害者を共感的に考える姿勢を身に付ける。発達障害の原因と特徴を把握し、発達障害者を理解し、一人の人間として尊重、対応していくことの大切さを理解する。ライフサイクルにおける精神保健について理解し、うつ病対策を代表とする心の健康づくり、精神障害者の現状について学ぶ。	知的障害や発達障害について理解できたか。 レポート	8
12月	⑨精神障害者の生活と支援 ⑩地域生活移行 ⑪地域生活移行	精神障害の特徴を理解し、精神障害者に対する具体的な生活支援の方法を学ぶ。障害を持つ人を地域で支えるシステムについて理解し、障害者が地域で生活するための具体的な方法について学ぶ。障害を持つ人を地域で支えるシステムについて理解し、障害者が地域で生活するための具体的な方法について学ぶ。	精神障害の特徴を理解できたか。 レポート 筆記考査	6
1月	⑫就労支援 3 介護を必要とする人の生活環境 (1) 介護と環境 ①生活環境を整えること	障害者が地域において、就労に関するどのような支援を受けられるかを学び、障害者の就労の実態を理解する。  人間の生活が環境とどのような関係性を持つか理解し、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方をとおし、高齢者や障害者を含めより多くの人が快適に生活するための方法について考察する。	就労支援のあり方を理解できたか。 介護を必要とする人の住環境について考察できたか。 レポート	6
2月	②高齢者の生活と住まい ③福祉用具の活用	障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。介護を必要とする人が、その人らしい生活を実現するための福祉用具の活用について理解する。また、介護保険制度によって、福祉用具が活用できるしくみについて理解する。	住環境を整えることの意義が理解できたか。 レポート	6
3月	④自立を支援する介護専門職 ⑤自立を支援する生活環境づくり	人間としての尊厳を守りながら、自立を目指し支援する専門職の基本的な業務と姿勢について理解する。自立を支援するための生活環境とは何かを理解する。また、そのための具体的な方策について考察する。	自立支援をする専門職について理解できたか。 レポート 筆記考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護総合演習) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(介護総合演習) 対象:(第1学年5組)

使用教科書 :なし

使用教材 :「最新 介護総合演習・介護実習」「介護福祉用語辞典」(中央法規)社会福祉小六法(ミネルバ出版)「介護用語ハンドブック」(ナツメ社)

	指導内容	科目(介護総合演習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	過程学習 施設の概要 施設見学	それぞれの施設について、根拠法、概要等をレポートにまとめることができる。	プリント提出 ワークシート 授業態度	4
5月	実習のマナー 正しい日本語 電話のかけ方	介護実習に向けて必要な知識・技術を使用することができる。	プリント提出 ワークシート 授業態度	
6月	介護実習の主な流れ	新しい介護福祉士養成カリキュラムと介護実習について理解ができる。 実習Iの目的と主な実習内容について理解ができる。	介護実習の主な流れが理解できたか 実習ノート、レポートにより評価	4
7・8月	介護実習事前学習	介護実習前に何を学ぶべきかを理解することができる。 前学習の意味と目的を理解することができる。 介護実習開始までの流れを理解することができる。 実習記録や日誌のまとめ方を理解することができる。	事前準備、事前学習が十分にできたか 実習ノート、レポートにより評価	6
9月	実習目標への到達度についての評価、課題の発見等について反省	利用者、家族、職員とのコミュニケーションスキル(話す力、聞く力、記録する力、まとめ・報告する力)について理解することができる。 生活行為を支援するときのポイント(①尊厳保持の遵守 ②自立・自律の尊重 ③利用者の潜在能力の活用④安全・安楽の確保など)を押さえた実践活動であったかどうかについて理解することができる。	振り返り学習の中で、実習目標の到達度についての評価、発見ができたか 実習ノート、レポートにより評価	3
10月	実習目標への到達度についての評価、課題の発見等について反省	利用者を取り巻く生活環境の把握が十分であったかどうかについて理解することができる。 ①場的環境(施設ケア、ユニットケア、居宅ケア) ②人的環境(職員、利用者間、家族、地域住民) ③社会的環境(自然環境、物理的環境、法的環境)		
11月	介護実習事前学習 実習目標への到達度についての評価、課題の発見等について反省	前回の介護実習を通しての振り返りを行い課題を明確にすることができる。 介護実習を振り返ることができる。	レポート ワークシート 授業態度	2 2
12月	実習のまとめと振り返り	実習の成果と課題を理解できる。 実習の成果と課題を文章で的確に表現できる。	レポート ワークシート 授業態度	3
1月	実習のまとめと振り返り	実習報告会で自分の実習の成果と課題を発表できる。	レポート ワークシート 授業態度	3
2月	実習のまとめと振り返り	介護実習の課題をどのようにすれば改善できるか考察することができる。	レポート ワークシート 授業態度	3
3月	次年度の介護実習に向けて	来年度の介護実習に向けてどのような知識・技術が必要かを考察することができる。	レポート ワークシート 授業態度	3

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(こころとからだの理解) 年間指導計画

教科:( 福祉 )科目:( こころとからだの理解 ) 対象:(第 1学年5組)

使用教科書 : 7実教 福祉304「こころとからだの理解」

使用教材 : 最新・介護福祉士養成講座7/8/11「生活支援技術Ⅱ・Ⅲ」「こころとからだのしくみ」・介護福祉用語辞典・社会福祉

	指導内容	科目・(こころとからだの理解)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	1 こころのしくみの基礎理解 こころのしくみ理解 ①私たちの生活と健康 ②人間の欲求の基本的理解	「健康」の概念を理解する。 介護従事者として必要な、基本的な心のしくみについて理解する。	「健康」の定義について理解できたか。  レポート 課題プリント	6
5月	③自己概念と尊厳 ④意欲・動機付けのしくみ ⑤思考・感情のしくみ ⑥記憶・学習のしくみ	人間の心とは何か。人間の欲求や尊厳と関連させながら考え理解する。 人間の心の動きや心のしくみを事例学習をすることにより気づき、理解する。	心の働きや仕組み、認知特性などについて理解できたか。  レポート 課題プリント	6
6月	からだのしくみの理解 ①生命維持・恒常性のしくみ ②脳・神経系のしくみ ③運動系のしくみ	介護従事者として必要な、基本的なからだのしくみについて理解する。 人間はどう生命を維持し、機能のバランスをとりながら生きているかを理解する。 物事を考える、様々な信号をキャッチする、からだの動きを司る、身体の調子を整える等、脳や神経のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。 歩く、走る、立つ、座る、階段の昇降等、運動器のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	身体の基本的な構造について理解できたか。  レポート	10
7月	④循環器系のしくみ	血液を全身に送り出す。血液を体内に運ぶ等、循環器系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	循環器系の構造と働きについて理解できたか。 レポート 筆記考査	5
8月				
9月	⑤消化器系のしくみ	食べ物を食べる、消化する、排泄する等、消化器系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	消化器系の構造と働きについて理解できたか。 レポート 筆記考査	7
10月	⑥呼吸器系のしくみ	息を吸う、吐く、ガス交換、呼吸器系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	呼吸器系の構造と働きについて理解できたか。 レポート 筆記考査	8
11月	⑦感覚器系のしくみ	脳・神経系の働きと、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚等の基本的な構造や働きを理解し、脳・神経系の働きと感覚受容器との相互作用について理解する。	感覚器系の構造と働きについて理解できたか。 レポート	7
12月	⑧内分泌系のしくみ	ホルモンを分泌し、からだの様々な機能を司る内分泌系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	内分泌系の構造と働きについて理解できたか。 レポート 筆記考査	6
1月	⑨泌尿器系のしくみ	尿を生成し、体外に排泄する、血圧の調整する等、泌尿器系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	泌尿器系の構造と働きについて理解できたか。 レポート	6
2月	⑩生殖器系のしくみ ⑪血液・免疫系のしくみ	精子や卵子の産出、役割、妊娠、出産、月経等、生殖器系のしくみ理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。  血液の産出、役割、体内にいつてきた異物を除去する等血液・免疫系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	生殖器系の構造と働きについて理解できたか。 血液・免疫系の構造と働きについて理解できたか。 レポート	6
3月	⑪血液・免疫系のしくみ	血液の産出、役割、体内にいつてきた異物を除去する等血液・免疫系のしくみを理解する。介護従事者として要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解する。また、そのために必要な知識を身につける。	筆記考査	3

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(生活支援技術) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(生活支援技術) 対象:(第1学年5組)

使用教科書: 7実教 福祉303「生活支援技術」

使用教材: 最新・介護福祉士養成講座6/7/14「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」「こころとからだのしくみ」・介護福祉用語辞典

	指導内容	科目・(生活支援技術)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	第1編 私たちの暮らしと生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活とは何かや生活支援とは何かを理解する。</li> <li>生活支援技術とは何かを理解する。</li> <li>介護の原則を理解し、生活支援技術の重要性を理解する。</li> </ul>	課題プリント	5
5月	第2編 自立にむけた生活支援技術 1 からだのしくみ 2 からだの動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋や骨格等のからだの名称を覚える。</li> <li>ボディメカニクスを理解し、実践できるようにする。</li> <li>良肢位や間接可能領域を理解する。</li> </ul>	課題プリント	6
6月	第2編 自立にむけた生活支援技術 3 住環境の整備 ベッドメイキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住環境整備の意義を理解する。</li> <li>望ましい室内環境のあり方を理解する。</li> <li>ベッドも住環境あることを理解し、その種類を知る。</li> <li>ベッドメイキングの意義が理解できる。</li> <li>リネンの取り扱い方がわかり、正しくたたむことができる。</li> <li>正しくベッドメイキングができる。</li> </ul>	住環境整備の意義が理解できたか。記述考査  ベッドメイキングの意義が理解できたか。レポート  ベッドメイキングが正しくできたか。実技テスト	8
7月				5
8月				
9月	第2編 自立にむけた生活支援技術 5 住環境の整備 ベッドメイキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が臥床した状態でのシーツ交換ができる。</li> <li>安全で安楽に体位変換ができる。</li> </ul>	利用者に配慮したベッドメイキングができたか 実技テスト	6
10月	第2編 自立にむけた生活支援技術 5 住環境の整備 ベッドメイキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が臥床した状態でのシーツ交換ができる。</li> <li>安全で安楽に体位変換ができる。</li> </ul>	利用者に配慮したベッドメイキングができたか 実技テスト	7
11月	第2編 自立にむけた生活支援技術 6 移動の介護 車椅子での移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子の構造を理解する。</li> <li>車椅子の取り扱い方法を理解する。</li> </ul>	車椅子の名称を理解し、基本的な操作の方法を身につけたか。 実技テスト 車椅子の点検が正しくできたか。	8
12月	第2編 自立にむけた生活支援技術 環境整備、移動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子の操作が確実にできる。</li> <li>車椅子の介助が安全にできる。</li> <li>ストレッチャーの構造を理解する。</li> <li>ストレッチャーの取り扱い方法を理解する。</li> <li>ストレッチャーでの安全な移送ができる。</li> </ul>	環境整備や介助の基本的な技術が身についたか 実技テスト ストレッチャーの操作や移送が身についたか。 実技テスト	6
1月	第2編 自立にむけた生活支援技術 環境整備、移動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子の操作が確実にできる。</li> <li>車椅子の介助が安全にできる。</li> <li>ストレッチャーの構造を理解する。</li> <li>ストレッチャーの取り扱い方法を理解する。</li> <li>ストレッチャーでの安全な移送ができる。</li> </ul>	環境整備や介助の基本的な技術が身についたか 実技テスト ストレッチャーの操作や移送が身についたか。 実技テスト	6
2月	第3編 自立にむけた生活支援技術 7 安全・感染予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染の原因や経路を理解する。</li> <li>感染の予防方法を理解する。</li> <li>消毒と滅菌の違いと方法を理解する。</li> <li>感染予防の重要性を理解し、そのための技術を身につける。</li> <li>手洗いの方法を身につける。</li> <li>カウンテクニックを習得する。</li> <li>事故防止の重要性とその方法を理解する。</li> </ul>	感染の原因や経路、予防方法について理解できたか筆記考査  感染予防につながる手洗いの方法が身についたか実技テスト  感染予防につながるカウンテクニック	8
3月	まとめ 実技の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間で学んだ実技の復習をし、介護実習で活用できるようにする。</li> </ul>	確実な介護技術が身についたか 実技テスト、定期考査	5

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護実習) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(介護実習) 対象:(第1学年5組)

使用教科書 :最新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習

使用教材 :介護福祉用語辞典・社会福祉小六法

	指導内容	科目・(介護実習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月				
5月				
6月				
7月				
8月	実習 I	高齢者施設または障害者施設での実習を通して、利用者のさまざま暮らしの場を理解できる。 利用者とのコミュニケーションを通して、思いや願いにふれることができる。 介護技術の基礎的な知識・技術を確認し、実施することができる。	実習先からの評価(A/B/C/D)と事後提出のレポート、実習日誌等を勘案して評価する。	10日
9月				
10月				
11月	実習 I	高齢者施設または障害者施設での実習を通して、利用者のさまざま暮らしの場を理解できる。 利用者とのコミュニケーションを通して、思いや願いにふれることができる。 介護技術の基礎的な知識・技術を確認し、実施することができる。	実習先からの評価(A/B/C/D)と事後提出のレポート、実習日誌等を勘案して評価する。	5日
12月				
1月				
2月				
3月				